

安全教育WG

令和2年4月

地震発生時の対応について（暫定）

○登校前

- ・震度4以下の場合→原則、通常通り
 - 施設点検→場合によっては自宅待機
 - ミマモルメにて周知
- ・震度5弱以上の場合→自宅待機
 - ミマモルメにて周知
 - 施設点検、教育委員会からの指示を待つ

○登下校中

- ・大きな揺れが発生→原則、帰宅、判断がつかず登校する（学校に戻る）児童はグラウンドに誘導
 - グラウンドで点呼→教育委員会からの指示で教室へ誘導またはグラウンドで待機。
 - 震度5弱以上の場合、ミマモルメにて「引渡し」を周知。震度4以下であっても、状況によっては「集団下校」となる場合もある。
 - 登校していない（下校済み）の児童宅へ在宅確認

○授業中

- ・大きな揺れが発生→机の中に入るよう指示、グラウンドの場合は校舎からできるだけ離れて頭をかばい低い姿勢をとる。廊下にいる場合は窓ガラスからできるだけ離れて頭をかばい低い姿勢をとる。体育館の場合は照明からできるだけ離れて頭をかばい低い姿勢をとる。プールの場合にはすぐにプールから出て、頭をかばい低い姿勢をとる。
 - 教室で待機。廊下にいる児童を近くの教室に誘導。グラウンドにいる児童はグラウンド待機。
 - 避難経路の安全を確認。その際、放送で「現在、避難経路の安全を確認しています。落ち着いて教室待機してください」
 - 安全が確認できたら、グラウンドへ誘導（校舎から離れた位置）
※屋外の階段は使用しない。
 - グラウンドで点呼→教育委員会からの指示で教室へ誘導またはグラウンドで待機。
 - 震度5弱以上の場合、ミマモルメにて「引渡し」を周知。震度4以下であっても、状況によっては「集団下校」となる場合もある。